

PRTR法・特化則対応 溶剤1液型特殊変性アクリル樹脂上塗り塗料

ユニブラPPエコ

1 系統 溶剤1液型特殊変性アクリル樹脂上塗り塗料

2 特徴

- 1) PP・ABS等の各種プラスチック素材に対して1コートで優れた付着性を示します。
- 2) 水・油・薬品等に対して強い抵抗力を持っています。
- 3) 乾燥が速く、塗装作業性に優れています。
- 4) 鉛・クロムなど有害な重金属、エチルベンゼンを含んでいません。
- 5) PRTR法・特化則に対応しています。

3 用途 自動車・産業機械等の樹脂成型品

4 適用素材 PP, ABS, AES, FRP, アクリルなど

5 塗料性状

項目	内容
容姿	1液型
荷姿	16kg, 4kg, 1kg
色相	各色
密度	1.16(ホホワイト)
粘度	70KU(ホホワイト)
不揮発分	54.0%(ホホワイト)
引火点	28.5°C(ホホワイト)
消防法区分	第4類第2石油類
有機溶剤予防規則	第2種有機溶剤含有
劇物表示	該当なし

注) 上記の数値は標準を示すものであり、ロット等により若干の変動があります。

6 原色一覧

PRTRホホワイト	PRTRフラットホホワイト	PRTRサンエロー	PRTRオーカー
PRTRシャニンブルー	PRTRフタロシャニングリーン	PRTRインディアンレッド	PRTRブラック
PRTRチンチングブラック	PRTRフラットブラック	PRTRシンカシャレット	PRTRクリヤー
PRTRフラットベース			

7 塗装基準

塗色	内容
下地処理	基材表面の油分、汚れ、埃等を除去し、乾燥した清浄な面とする。
塗装方法	エアスプレー
配合比	1液型
希釈剤	ユニブラPPエコシンナー
希釈率(%)	60~100
塗布量(g/m ²)	100~150
標準膜厚(μm)	10~15
ポットライフ	—

注) 塗布量は実績値に基づき算出しています。

8 乾燥時間・塗装間隔

乾燥時間	指触乾燥	5~10分(23°C)
	指圧乾燥	25~30分(23°C)
	完全硬化	24時間(23°C)
	強制乾燥	60°C×30分
塗装間隔	最小	30分以上(23°C)
	最大	—

PRTR法・特化則対応 溶剤1液型特殊変性アクリル樹脂上塗り塗料

ユニプラPPエコ

9 標準塗装仕様

工程	材料	配合比	希釈率 (%)	塗布量 (g/m ²)	塗装方法	乾燥時間 (23°C)
下地処理	シンナー、ワックスオフライト等の脱脂剤により、基材表面に付着している汚染物質、油分を除去する。					
上塗り	ユニプラPPエコ	1液型	60 ~ 100 ユニプラPPエコ シンナー	100 ~ 150	エアスプレー	(塗装間隔) 30分以上(要相談) (強制乾燥) 60°C×30分

10 荷姿

製品名	荷姿
ユニプラPPエコ(原色)	16kg, 4kg
ユニプラPPエコ(調色品)	16kg, 4kg, 1kg
ユニプラPPエコシンナー(10, 20, 30, 40)	16L

11 塗膜性能

試験項目	試験結果	試験条件
塗膜の外観	異常なし	目視評価
鉛筆硬度	H	鉛筆硬度試験
鏡面光沢度	85	60度
耐衝撃性	異常なし	(デュボン式) 300g×30cm
耐水性	異常なし	23°C×10日間
耐湿性	異常なし	50°C×96%RH×7日間
耐塩水噴霧性	異常なし	96時間
不粘着性	異常なし	500g×24時間
耐酸性	異常なし	5%-H ₂ SO ₄ ×24時間浸漬
耐アルカリ性	異常なし	5%-NaOH×24時間浸漬
耐メタノール性	異常なし	ラビング試験(500g×20往復)
促進耐候性	93% 異常なし	サンシャインウェザーメーター(200時間)
		光沢保持率 色差

注) 各塗膜性能試験は標準塗装仕様による。

素材: PP板

塗料: ユニプラPPエコ PRTRホワイト(膜厚15μm)

乾燥: 60°C×30分

12 使用上の注意

- 1) 使用時にはよく攪拌し、均一な塗料状態にしてからご使用ください。
- 2) シンナーは専用シンナー以外のものを使用しないでください。
- 3) 被塗面の異物(研削材、ダスト、油分、水分)は塗装前に完全に除去してください。
- 4) 標準塗布量の範囲で、タレ、塗り残し、スケのないように均一に塗装してください。
- 5) 気温5°C以下、湿度85%以上、表面結露の見られる場合には塗装を避けてください。
- 6) 火気のない局所排気を設けた場所でご使用ください。
- 7) 塗装中、養生中は換気をよくし、蒸気を吸い込まないようにしてください。
- 8) 取り扱い中は、皮膚に触れないようにし、有機ガス用防毒マスク・保護めがね・保護手袋等を着用してください。
- 9) 廃棄物は「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」等に基づく産業廃棄物として処理するか、または産業廃棄物処理業者に処理を委託してください。
- 10) その他塗料の取り扱いについての一般的な注意事項の詳細はSDS(安全データシート)を参照してください。